

CELM ASIA 参加型オンラインセミナー

『パンデミックのいま考える現地化 in ASIA』

～短期・中期両方の視点から考える「現地化」における4つの取り組み領域～

開催概要

- 開催日程：2020年 12月11日（金） 14:00～15:20（シンガポール時間）
- 対象：海外事業における人事戦略に携わっている経営者・人事責任者の方
- 参加費：無料
- 言語：日本語
- お申込み・お問い合わせ：下記メールアドレスへ貴社名・部署名・メールアドレス・電話番号とともにご連絡ください
Mail: seminar@celm-asia.com（ボイルまで）

オンラインでの開催になります。
お申し込みの方に受講URLをご案内いたします。

開催趣旨

在外日系企業が長年掲げてきた経営改革の一つのテーマである「現地化」は、2020年に起きたパンデミックにより、より重要な課題になってきました。現在、シンガポール内においては、外国人のビザが取得しにくくなり、現地スタッフを雇用し、活かすことを国からも求められています。一方、グローバル化、経営戦略を再構築する視点からも、サプライチェーンの見直し、DX（デジタルトランスフォーメーション）への対応など、新たな基軸を打ち出すことが必須となってきました。

2021年のスタートに向けて、その新しい方向性を推進する組織をどのように考え、人材をどう活かすのか。今、現地化に取り組む意義・意味にも立ち返り、参加者の皆様が考える課題を共有・ディスカッションしながら『どこから、どう現地化を推進するのか。強い組織・個人づくりの手段としての現地化とは。』を考えます。是非ご参加ください。

セミナー内容

本セミナーでは、次のような、観点及び事例から、実効性と現実性を踏まえた現地化プロセスについて考えます。

- ・ 現地化を考える際の4つの領域
- ・ 各領域における成功及び失敗のパターン
- ・ 自社の取り組みにおける施策の「選択軸」と取り組みにおける留意点
- ・ 今、ご自身で考える現地化

『パンデミックのいま考える現地化 in ASIA』

～短期・中期両方の視点から考える「現地化」における4つの取り組み領域～

講師



株式会社Go BEYOND代表

塩尻 出穂（しおじり いずほ）氏

過去20年以上に渡り、企業のグローバル化における人事・組織領域コンサルティングワークに従事。株式会社リクルートにおける国内組織変革・人事改革コンサルティングワークを経て、マーサー、ヘイ、エーオンなど外資系コンサルティング・ファーム5社にてグローバル案件に従事。20カ国に及ぶ海外現地での企業支援及び日本国内での本社主導のグローバル案件を支援。その経験を基に、2014年にグローバル組織人事戦略を専門とする会社を設立。海外人材の力を最大限に引き出す人材マネジメントのあり方をクライアント企業と共に探求中。

講師からのメッセージ

例えばこんなことで悩んでいませんか？

- ✓ 海外事業の最大の課題は「ひと」だと感じているが、何から手をつけていけばいいのかわからない。
- ✓ 現地社員の離職や離脱に一喜一憂する状態から早く抜け出したい。
- ✓ 進出して時間が経ち、海外拠点での人の定着率は上がってきたが、リーダーが育たず、生産性も上がらず、風土がどんどんぬるま湯的になっている。
- ✓ 中国・アセアン・欧州・米州...至るところで組織と人の問題が発生し、その場しのぎの対応を繰り返している。そろそろ、戦略的な組織人事を世界展開したい。

現地化を進めていくうえでは、自社の課題を浮き彫りにし、ご自身で方向性を決め、一つ一つ解決するしかありません。『強い組織・個人づくりの手段としての現地化』さらには『今求められるグローバル化とは？』へ向けて共有・ディスカッションしていきましょう！